

公 安 委 員 会 説 明 資 料 No. 1	非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例等の一部を改正する条例（案）について	令和 7 年 1 月 30 日 警 務 部
議題事項 非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正等とともに、香川県警察署協議会条例等県警察が関係する条例の一部改正を行うもの		
1 改正理由 一般職の職員の給料改定等の状況を総合的に勘案し、行政委員会の委員その他の非常勤の職員に対する報酬の額を改定するもの 2 警察関係で改正が行われる条例 (1) 香川県警察署協議会条例（平成 13 年香川県条例第 5 号） (2) 香川県留置施設視察委員会条例（平成 19 年香川県条例第 7 号） 3 改正案 非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例等の一部を改正する条例（案）のとおり 4 改正内容 警察署協議会委員及び留置施設視察委員会委員の日額報酬を「9,000 円」から「9,200 円」に改定する。 5 施行期日 令和 7 年 4 月 1 日 6 その他 知事部局において、2 月議会に上程予定		

公安委員会 説明資料 No. 2	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（案）について	令和 7 年 1 月 30 日 生活安全部・刑事部 交通部・警備部
議題事項 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、香川県迷惑行為等防止条例等関係する条例の一部改正を行うもの		
1 改正理由 刑法等の一部を改正する法律（令和 4 年法律第 67 号）の施行により、懲役及び禁錮が廃止され、これらに代えて拘禁刑が創設されることに伴い、関係条例について所要の改正を行うもの 2 改正する条例（警察関係） (1) 香川県迷惑行為等防止条例（昭和 38 年香川県条例第 50 号） (2) 拡声機による暴騒音の規制に関する条例（平成 4 年香川県条例第 37 号） (3) 香川県暴走族等の追放に関する条例（平成 15 年香川県条例第 3 号） (4) 香川県暴力団排除推進条例（平成 23 年香川県条例第 4 号） 3 改正内容 各条例中、「懲役」を「拘禁刑」に改める。 4 改正案 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（案）のとおり 5 施行期日 令和 7 年 6 月 1 日 6 その他 知事部局において取りまとめ、2 月県議会に上程予定		

公安委員会 説明資料 No. 3	香川県使用料、手数料条例の一部改正について	令和7年1月30日 交 通 部
議題事項 県民負担の適正化を図るため、香川県運転免許センターの自動車試験場の使用料を改定することに伴い、香川県使用料、手数料条例の一部を改正するもの		
1 改正理由 県民負担の適正化を図るため、使用料及び手数料の収入を充てて執行する事務に関し、人件費及び減価償却費等に要する経費を見直すことに伴い、香川県使用料、手数料条例（昭和27年香川県条例第2号）の一部を改正するもの 2 改正の概要 香川県運転免許センターの自動車試験場を運転練習目的で使用する際の使用料について、持ち込み車両の区分（大型自動車・普通自動車・自動二輪車）に応じた1時間単位の金額を改定する。 3 改正案 香川県使用料、手数料条例の一部を改正する条例（案）のとおり 4 施行期日 令和7年4月1日 5 今後の予定 知事部局において、県全体の使用料及び手数料の改定について取りまとめ、令和7年2月県議会に上程予定		

報告事項

- 令和6年12月中の苦情申出受理件数 ～ 公安委員会2件、警察4件
- 令和6年の苦情申出総受理件数 ～ 公安委員会14件、警察64件

1 月別苦情申出受理件数

区 分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
公 安 委 員 会	件 数	0	0	1	0	0	0	2	4	3	0	2	2	14
	前 年 比	-2	-1	-1	±0	-1	-1	+1	+3	+2	-2	+1	+1	±0
警 察	件 数	1	1	3	1	8	4	5	12	6	10	9	4	64
	前 年 比	±0	-2	-4	-2	±0	+2	-1	+11	+2	+4	+9	+3	+22

2 苦情内容別受理・処理件数

内 容	公安委員会					警察				
	12月		累計			12月		累計		
	受理	処理	受理	処理	調査中	受理	処理	受理	処理	調査中
遺失・拾得届										
窓口・電話対応								2	2	
各種保護										
職務質問・検問								2		2
110番対応・臨場						1		1		1
各種相談			6	6		1		11	10	1
少年補導										
被害届等								2	2	
告訴・告発			1	1						
捜査(逮捕、取調等)	1	2	4	4 (2)	2		9	27	27 (3)	3
交通指導取締り	1		2	1	1	1		3	2	1
交通事故処理								3	3	
その他			1	1 (1)	1	1	1	13	11	2
合 計	2	2	14	13 (3)	4	4	10	64	57 (3)	10

(注) 処理欄の () 内の数字は、前年までの受理分で内数

3 主な感謝事例

- 警察官による現場対応への感謝など 3件

報告事項

令和6年中の刑法犯認知件数は5,858件(前年比+97件)、検挙件数は2,745件(同+59件)、検挙率は46.9%(同+0.3ポイント)で、前年より、認知件数、検挙件数及び検挙率はそれぞれ増加した。

1 令和6年中の刑法犯の認知・検挙状況等

(1) 刑法犯の認知・検挙状況

包括罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
	件	増減	%	件	増減	%	%	増減	人	増減	%	人	増減	%
総数	5,858	+97	+1.7	2,745	+59	+2.2	46.9	+0.3	1,681	+31	+1.9	184	+11	+6.4
凶悪犯	59	+26	+78.8	57	+24	+72.7	96.6	-3.4	53	+21	+65.6	7	+2	+40.0
粗暴犯	401	-93	-18.8	370	-45	-10.8	92.3	+8.3	381	-44	-10.4	56	+7	+14.3
窃盗犯	3,203	-60	-1.8	1,568	+57	+3.8	49.0	+2.7	822	+16	+2.0	79	+2	+2.6
侵入盗	308	+14	+4.8	148	+11	+8.0	48.1	+1.5	47	-6	-11.3	2	-1	-33.3
乗り物盗	950	-7	-0.7	159	+44	+38.3	16.7	+4.7	58	-18	-23.7	25	-1	-3.8
非侵入盗	1,945	-67	-3.3	1,261	+2	+0.2	64.8	+2.2	717	+40	+5.9	52	+4	+8.3
知能犯	1,012	+161	+18.9	238	-60	-20.1	23.5	-11.5	93	-30	-24.4	8	-1	-11.1
風俗犯	182	+78	+75.0	166	+98	+144.1	91.2	+25.8	97	+54	+125.6	7	-2	-22.2
その他	1,001	-15	-1.5	346	-15	-4.2	34.6	-0.9	235	+14	+6.3	27	+3	+12.5

(2) 重要犯罪の認知・検挙状況

罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
	件	増減	%	件	増減	%	%	増減	人	増減	%	人	増減	%
総数	103	+40	+63.5	100	+38	+61.3	97.1	-1.3	88	+32	+57.1	10	-1	-9.1
殺人	15	+11	+275.0	15	+10	+200.0	100.0	-25.0	14	+10	+250.0	2	+2	
強盗	6	+1	+20.0	7	+3	+75.0	116.7	+36.7	6	-1	-14.3	2	-1	-33.3
放火	9	+3	+50.0	7	+1	+16.7	77.8	-22.2	6	+1	+20.0	1	+1	
不同意性交等	29	+11	+61.1	28	+10	+55.6	96.6	-3.4	27	+11	+68.8	2	0	0.0
略取誘拐・人身売買	5	+5		4	+3	+300.0	80.0	+80.0	2	+1	+100.0	0	0	
不同意わいせつ	39	+9	+30.0	39	+11	+39.3	100.0	+6.7	33	+10	+43.5	3	-3	-50.0

(3) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

手口等	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
	件	増減	%	件	増減	%	%	増減	人	増減	%	人	増減	%
総数	320	+5	+1.6	158	+1	+0.6	49.4	-0.4	55	-9	-14.1	4	0	0.0
侵入盗	308	+14	+4.8	148	+11	+8.0	48.1	+1.5	47	-6	-11.3	2	-1	-33.3
住宅対象	125	-39	-23.8	66	+21	+46.7	52.8	+25.4	18	+2	+12.5	1	+1	
住宅対象以外	183	+53	+40.8	82	-10	-10.9	44.8	-26.0	29	-8	-21.6	1	-2	-66.7
自動車盗	7	-8	-53.3	5	-12	-70.6	71.4	-41.9	3	-6	-66.7	0	-1	-100.0
ひったくり	3	+1	+50.0	3	+2	+200.0	100.0	+50.0	2	0	0.0	2	+2	
すり	2	-2	-50.0	2	0	0.0	100.0	+50.0	3	+3		0	0	

2 令和7年の「検挙と抑止」に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺対策の推進
- イ 匿名・流動型犯罪グループ等犯罪組織の実態解明と戦略的な取締りの推進
- ウ 重要犯罪等発生時の迅速・的確な初動捜査による早期検挙
- エ 現場鑑識活動及び科学技術を活用した科学捜査の徹底による客観的証拠の収集

(2) 抑止対策

- ア 情勢を踏まえた犯罪抑止対策の推進
- イ 地域住民等への適時適切かつ訴求力のある情報提供の推進
- ウ 学生ボランティアや防犯CSR活動等の促進・支援による持続可能な自主防犯活動の確保

別表

包括罪種	罪 種	罪 名
凶悪犯	殺 人	殺人罪、嬰兒殺、殺人予備罪、自殺関与罪
	強 盗	強盗殺人罪(致死を含む。)、強盗傷人罪、強盗・不同意性交等罪(致死を含む。)、強盗罪・準強盗罪(強盗予備、事後強盗、昏睡強盗)
	放 火	放火罪、消火妨害罪
	不同意性交等	不同意交等罪(致死傷を含む。)、監護者性交等罪
粗暴犯	凶器準備集合	凶器準備集合罪、凶器準備結集罪
	暴 行	暴行罪
	傷 害	傷害罪、傷害致死罪、現場助勢罪
	脅 迫	脅迫罪、強要罪
	恐 喝	恐喝罪
窃盗犯	窃 盗	窃盗罪 (重要窃盗犯が含まれる)
知能犯	詐 欺	詐欺罪、準詐欺罪
	横 領	横領罪、業務上横領罪
	偽 造	通貨偽造罪、文書偽造罪、支払用カード偽造罪、有価証券偽造罪、印章偽造罪
	汚 職	賄賂罪(収賄罪、贈賄罪)、職権乱用罪(致死傷を含む。)
	あつせん利得	公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律に規定する罪
	背 任	背任罪
風俗犯	賭 博	普通賭博罪、常習賭博罪、賭博開張等罪
	わ い せ つ	不同意わいせつ罪(致死傷を含む。)、監護者わいせつ罪、公然わいせつ罪、わいせつ物頒布等罪
	面会要求等	面会要求等罪、映像送信要求罪
	性的姿態撮影等処罰	性的姿態等撮影罪、性的影像記録提供等罪、性的影像記録保管罪、性的姿態等影像送信罪、性的姿態等影像記録罪、消去命令違反等罪
その他	上記以外	器物損壊等罪、占有離脱物横領罪、住居侵入罪、略取誘拐・人身売買罪等

※重要犯罪・重要窃盗犯

治安情勢を観察する場合に、統計上、その指標となる犯罪として掲げるもので、その内訳罪名(手口)は、次のとおりである。

- ・重要犯罪(6種) ……殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐・人身売買、不同意わいせつ
- ・重要窃盗犯(4種) ……侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり

報告事項

- 令和6年中の特殊詐欺については、認知件数233件（前年比+62件、約1.4倍）、被害総額約6億7,700万円（同+約4億6,900万円、約3.3倍）と、認知件数及び被害額ともに激増している。
- 令和6年中のSNS型投資・ロマンス詐欺（特殊詐欺に該当するものを除く。）については、認知件数260件（前年比+136件、約2.1倍）、被害総額約23億7,300万円（同+約10億9,000万円、約1.8倍）と、認知件数及び被害総額ともに激増している。

1 特殊詐欺の被害・検挙状況

(1) 被害状況

特殊詐欺類型	令和6年12月末				令和5年12月末				増			減
	認知			被害額	認知			被害額	認知			被害額
	既遂	未遂	計		既遂	未遂	計		既遂	未遂	計	
オレオレ詐欺	32	2	34	428,506,902	7	0	7	95,400,000	+25	+2	+27	+333,106,902
預貯金詐欺	5	0	5	4,135,000	23	2	25	31,962,000	-18	-2	-20	-27,827,000
架空料金請求詐欺	140	0	140	132,544,063	114	1	115	50,749,760	+26	-1	+25	+81,794,303
還付金詐欺	3	0	3	9,186,809	9	0	9	5,319,930	-6	0	-6	+3,866,879
融資保証金詐欺	10	0	10	5,221,054	3	0	3	360,000	+7	0	+7	+4,861,054
金融商品詐欺	4	0	4	12,170,628	2	0	2	8,105,000	+2	0	+2	+4,065,628
ギャンブル詐欺	3	0	3	2,052,640	2	0	2	849,000	+1	0	+1	+1,203,640
交際あっせん詐欺	4	0	4	2,824,947	0	0	0	0	+4	0	+4	+2,824,947
その他の特殊詐欺	27	0	27	75,134,334	1	0	1	15,000	+26	0	+26	+75,119,334
キャッシュカード詐欺盗	3	0	3	5,505,000	7	0	7	15,014,000	-4	0	-4	-9,509,000
合 計	231	2	233	677,281,377	168	3	171	207,774,690	+63	-1	+62	+469,506,687

※ 被害の特徴

- 手 口 ～ 架空料金請求詐欺が全体の60.1%（140件、約1億3,200万円）を占める。
- 被害額 ～ 警察官騙りをはじめとするオレオレ詐欺の被害額が全体の63.3%（34件、約4億2,800万円）を占める。
- 年 齢 ～ 高齢者（65歳以上）が全体の40.3%（94人）を占めるが、20代以降の各年代で偏りなく被害に遭っている。
- 性 別 ～ 男性が53.2%（124人）、女性が46.8%（109人）である。
- 交付形態 ～ 既遂231件中、振込型が全体の55.8%（129件）、電子マネー型が全体の35.5%（82件）を占める。

(2) 検挙状況

- 詐欺等 ～ 51件20人（前年比 -44件、-3人） ※組織的犯罪処罰法を含む。
- 助長犯罪 ～ 36件35人（前年比 -19件、+10人）

※ 被害阻止状況

- 阻止件数 ～ 117件（前年比-25件）
- 阻止金額 ～ 約3,800万円（前年比+約2,100万円）

2 SNS型投資・ロマンス詐欺の被害・検挙状況

(1) 被害状況

令和6年							令和5年						
SNS型投資詐欺			SNS型ロマンス詐欺				SNS型投資詐欺			SNS型ロマンス詐欺			
			投資名目		ロマンス等名目					投資名目		ロマンス等名目	
認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)
1月	17	126,911,409	4	34,195,657	0	0	1月	1	19,793,385	2	5,494,800	0	0
2月	30	200,460,694	4	84,609,040	0	0	2月	1	6,220,000	1	61,350,000	2	3,301,878
3月	23	274,729,060	5	11,008,765	3	32,372,513	3月	0	0	0	0	0	0
4月	9	67,897,782	4	18,244,339	1	1,737,171	4月	0	0	2	13,170,000	0	0
5月	8	102,462,592	2	10,937,827	2	22,711,476	5月	0	0	3	21,975,000	3	1,907,807
6月	12	121,024,042	2	28,095,151	6	23,829,500	6月	1	1,000,000	2	5,400,000	0	0
7月	9	157,748,975	3	55,080,000	1	5,540,000	7月	5	69,800,000	5	86,985,961	2	50,000,000
8月	12	45,247,628	5	50,527,000	1	1,450,000	8月	5	49,480,000	12	75,066,742	2	2,250,000
9月	19	137,410,626	6	58,780,000	5	27,406,498	9月	10	74,336,089	5	32,460,000	0	0
10月	18	132,607,829	9	95,896,294	11	53,479,448	10月	13	158,679,239	5	152,888,915	3	10,822,670
11月	8	105,679,533	6	58,728,121	1	40,000	11月	14	129,891,097	0	0	2	30,467,000
12月	5	160,124,747	8	66,570,683	1	150,000	12月	19	105,320,692	4	115,139,000	0	0
合計	170	1,632,304,917	58	572,672,877	32	168,716,606	合計	69	614,520,502	41	569,930,418	14	98,749,355

※ 認知件数：260件 被害額：約23億7,300万円

内、投資名目の詐欺（SNS型投資詐欺及び投資名目のSNS型ロマンス詐欺の合計）

認知件数：228件 被害額：約22億400万円

※ 被害の特徴（投資名目の詐欺に限る。）

- 年 齢 ～ 40代から60代が全体の64.0%（146人）を占める。
- 性 別 ～ 男性が61.0%（139人）、女性が39.0%（89人）である。
- 交付形態 ～ 口座振込が全体の83.8%（191件）、暗号資産（仮想通貨）送付型が12.3%（28件）を占める。

(2) 検挙状況

- 詐欺等 ～ 13件5人 ※組織的犯罪処罰法を含む。
- 助長犯罪 ～ 1件1人

3 検挙・抑止に向けた取組

(1) 検挙対策

- 迅速な初動捜査による実行犯の検挙と突き上げ捜査による上位被疑者の摘発
- 暗号資産追跡ツールの活用等、サイバー部門と連携した捜査の推進
- 特殊詐欺連合捜査班の運用及び他都道府県警察との合・共同捜査の積極的な推進
- あらゆる法令を駆使した犯行ツール対策の徹底
- 組織的犯罪処罰法の積極的な適用による犯罪収益等の剥奪

(2) 抑止対策

- 積極的な広報啓発活動の推進
 - ・ ヨイチポリス、ヨイチメール、防災無線等を活用したタイムリーな情報発信
 - ・ 報道機関や各種広報媒体を活用した継続的かつ訴求力のある情報発信
- 県警OBからなる防犯アドバイザーによる被害防止対策
 - ・ 金融機関等を訪問した個別防犯指導の実施及び連携した水際対策の推進
 - ・ 個人宅を訪問した個別防犯指導の実施
 - ・ 特殊詐欺撃退装置の体験貸出事業を通じた固定電話対策の推進
 - ・ 特殊詐欺グループから押収した名簿登載者への電話による注意喚起の実施
- 関係団体・企業と連携した被害防止対策の推進

公安委員会 説明資料 No. 7	「第 77 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」開催に伴う各種安全対策の実施について	令和 7 年 1 月 30 日 交通部・警備部
---------------------	---	----------------------------

報告事項

令和 7 年 2 月 2 日（日）、「第 77 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」の開催に伴い、国道 11 号、主要地方道高松善通寺線等において交通規制（車両通行禁止）を実施するとともに、主催者側と連携した各種安全対策を講じる。

1 大会概要

(1) 大会概要

香川県立丸亀競技場附属ハーフマラソンコースを使用して行われる世界陸上連盟公認のハーフマラソン大会を開催する。

(2) 開催日時

令和 7 年 2 月 2 日（日）午前 10 時 35 分から午後 2 時 00 分までの間（雨天決行）

(3) 主催者

丸亀市香川丸亀国際ハーフマラソン大会組織委員会（会長：丸亀市長）等

(4) コース

香川県立丸亀競技場附属ハーフマラソンコース 21.0975km

(5) 申込者数等

種 目	ランナー種別	本大会 (第 77 回)	前回大会 (令和 6 年第 76 回)	
		申込者数(暫定)	申込者数	出走者数
ハーフマラソン	登録男女 A、招待選手	568	396	271
	登録・一般男女 B	2,398	2,108	1,859
	登録・一般男女 C	6,952	6,339	5,532
	合 計	9,918	8,843	7,662

(6) 沿道観衆

前回大会実績 約 8 万 5,000 人

2 交通規制の概要

(1) 規制日時: 令和 7 年 2 月 2 日午前 10 時 5 分から午後 2 時 00 分までの間

(2) 規制種別: 車両通行禁止（大会関係車両を除く。） ※警察署長の交通規制

(3) 規制区間: 香川県立丸亀競技場から坂出市京町までの国道、県道、市道（約 10km）

3 各種安全対策

(1) 体制

警察職員約 180 人、主催者約 840 人（警備員約 200 人、自主整理員約 640 人）

(2) 交通規制の事前広報

チラシの新聞折込み、各機関のホームページへの掲載、各自治体の広報誌への掲載、規制予告看板の設置、交通情報板による広報等

(3) 関係機関との連絡調整

公共交通機関との事前調整、消防本部等との協議を実施

(4) 各種事案防止に向けた警備対策

ランニングポリス隊による「見せる警戒」を実施するほか、ドローン及び上空警戒隊（ヘリ）による上空対策の実施